

# 令和8年度 公益財団法人入善町文化振興財団事業計画書

## 1. 文化芸術活動の普及啓発に関すること

### (1) コスモホール自主文化事業

令和8年度はコスモホール開館40周年を迎えるにあたり、これまで培ってきた「コスモホール」ブランドの発信力を高めつつ、これまで取り組んできたことのない新たな試みを両立させながら、幅広い世代が訪れ、人々の記憶に残るような芸術との出会いを創出する。

#### ① 「入善コスモホール」ブランドを内外に発信できる優れた音楽事業の開催

内容:優れた音響特性を持つコスモホールを生かしながら北陸地区で唯一の開催となるコンサートを展開。また、単なる一過性の鑑賞事業ではなく国際的に活躍するアーティストの来町にあわせて地域の人々、子どもたちとの交流を盛り込む。

- ・小林愛実コスモホール開館40周年交流プログラム(5月22日予定)
- ・小林愛実ピアノリサイタル(5月23日予定)

第17回、18回ショパン国際コンクールで人気を博したピアニストの小林愛実による交流企画をコスモホールの誕生日(1986年5月22日開館)に町内の青少年を招いて実施。また、翌日には記念リサイタルを開催。

- ・ポール・メイエ 交流プロジェクト(11月15日予定)

現代最高のクラリネット奏者と謳われる第一人者のポール・メイエを招き、地域で活動する音楽家や吹奏楽活動に取り組む青少年と音楽交流する特別企画を開催。

- ・ユリアンナ・アヴデーエワ開館40周年交流プログラム(11月27日予定)
- ・ユリアンナ・アヴデーエワ ピアノリサイタル(11月28日予定)

第16回ショパン国際コンクール優勝後、昨年の第19回コンクールでは審査員を務めた世界的ピアニスト、ユリアンナ・アヴデーエワが初めて子どもたちを対象にしたアウトリーチ(出前公演)を実施。また、翌日には記念リサイタルを開催。

#### ② 地域の人々がホールに集い、多彩な芸能文化を鑑賞体験するプログラム

内容:地域住民が優れた芸能や話題の公演を鑑賞できる交流拠点として、幅広い世代を対象にした鑑賞公演を提供する。

- ・神田伯山 独演会(7月25日予定) 全国各地で大人気の講談師が入善初登場。
- ・HIPPIY(ヒッピー)ライブ(10月25日予定) 若者に圧倒的支持「君に捧げる応援歌」でブレイク。
- ・立川志の輔 独演会(3月22日予定) 富山が生んだ落語界の名人による記念公演。
- ・映画上映会(7月頃)

#### ③ 青少年が芸術文化に関心を持ち、舞台芸術を体験するプログラム

内容:青少年が身近に芸術文化を体験できるように、鑑賞プログラム、交流アウトリーチ、舞台体験プログラムを実施する。

・0歳から参加 OK!初めてのコンサート(富山県出前公演開催事業予定)

入善町内の身近な会場を舞台に、未就学児を持つ親子を対象にしたクラシック演奏会を開催。

・開館 40 周年プロジェクト 歌の祭典(予定)

大人では盛んなカラオケ発表会を子ども版にアレンジして初舞台を応援する企画。

④ 地域交流プログラム

内容:ホールを活用した参加体験型事業としてピアノ開放事業に加えて、地域の才能(人材)を起用したホール独自のプロデュース企画。

・コスモホールピアノ開放プログラム (年4回)

・開館 40 周年プロジェクト 注目の若手アーティストの“現在”を聴くシリーズ(予定)

これまでに数多の世界的アーティストが登場してきたコスモホールが、次代の若手アーティストをプロデュースしながら、ホール独自の企画で開催。

⑤ ホール情報会員組織の運営

・登録会員を対象とした情報配信制度の運営と LINE 等を活用した情報発信。

(2) 美術展企画展示事業

会場となる町民会館の特性を生かし、美術愛好家のみではなく、ホールや図書館、中央公民館の利用者も気軽に鑑賞できる分かりやすい美術展を開催し、町民がアートに触れ親しむ場を提供する。

① ワークショップ(体験・普及)事業

内容:各分野の専門家を招いて地域の人々を対象にしたワークショップを交えて実施。

・Shadow Works による影絵教室(影絵上映会併催) 5月予定

・狐の嫁入り～里山の風景画展(朗読会を併催) 8月予定

② 出張美術館事業

内容:入善町所有美術品を町内の小中学校や公民館で展示し、芸術文化への関心と理解を深めるアウトリーチ事業として実施。

・入善町出張美術館(地区公民館を会場にした移動美術館)

③ 公民館ギャラリー活性化事業

内容:町民会館ギャラリーを町民の文化交流サロンとして活用し、通年で作品展示事業として実施。

・今年生誕 100 年を迎える前田常作氏の入善町所有美術品を中心とした常設展  
(アートに親しむ広場)

### (3) 芸術文化振興事業

財団設立以前から町主催で開催している町民参加型の事業で、芸術文化活動をしている町民の発表の場として親しまれている。身近な創作活動の目標となっており、今後も継続して開催する。

#### ① 第54回入善町美術展：10月10日（土）～18日（日）予定

- ・高校生以上の町在住、出身、通勤通学者を対象にした町内最大規模の公募展。絵画、書、写真、彫刻・工芸の4部門で構成され、出品者数約80名、作品数約100点を予定。

#### ② 第54回入善町芸能発表会：11月3日（火・祝）予定

- ・町内で芸能文化活動をしている団体を対象にした発表会。参加者による実行委員会を構成して開催要項の作成や出演団体の選考を行う。約25団体250名の出演を予定。

### (4) 下山芸術の森企画展示事業

芸術文化の振興と町民の美術に関する学習、創作活動を推進することを目的とする下山芸術の森アートスペース。その目的達成のため、中心施設である発電所美術館を会場に以下の展示事業を行う。

#### ① 発美展（発電所美術館収蔵品展）

- ・会期：4月18日（土）～5月31日（日）
- ・収蔵品で過去の展覧会を振り返るシリーズ企画。収蔵品の展示とともに当時の記録写真や映像、解説パネルで過去の展覧会を紹介する。

#### ② 中島崇展

- ・会期：6月27日（土）～9月6日（日）
- ・東京都出身在住の現代美術家、中島崇（なかじま たかし）の個展。透過性のある素材や作品自体の間隙を用い自然光を効果的に取り入れたインスタレーション作品を現地制作。元水力発電所の空間全体を使い水流を表現する。

#### ③ 柴川敏之展

- ・会期：10月17日（土）～3月22日（月・祝）
- ・大阪府出身岡山県在住の美術家、柴川敏之（しばかわ としゆき）の個展。スマートフォンや人形などの日用品を化石化する作品で知られる彼が1926年の竣工から100年を迎えた建物内で作品を展示。人々の生活や記憶を「出土品」として提示し、観る者に現代の意味や価値を問い直す。

## 2. 文化施設等の管理運営に関すること

### (1) 町民会館管理運営事業

- ① 町民会館（ホール、中央公民館）の管理
- ② ホール、中央公民館の利用促進

### (2) 下山芸術の森管理運営事業

- ① 各施設の建物管理（発電所美術館、アトリエ、宿泊棟、ゲート棟、展望棟）
- ② アトリエ、宿泊棟の利活用
- ③ 建物周辺の芝生広場、植栽の管理

## 3. その他の事業（収益事業）

管理運営する施設等を公益目的とした事業以外で貸与する事業

### (1) 図書館としての施設管理

- (2) 入善コスモホール及び中央公民館の公益目的外の施設貸与
- (3) 他会館チケットの販売